

平成29年度

事業報告書

江別市社会福祉協議会（以下「当協議会」）では、平成27年度から平成31年度までの5ヵ年を期間とする第3期地域福祉実践計画（以下「計画」）に基づき「暮らしの安心を支える地域福祉」を目指して運営・事業を進めています。

計画の3年目を迎えた平成29年度は、関係機関・団体との連携・協働により、江別市成年後見支援センターの設置・運営や生活支援体制整備事業など、新規事業に取り組むとともに、身近な地域での生活支援やボランティア活動の推進など様々な福祉課題に対応する事業活動を積極的に展開しました。

以下、事業の実施結果について報告します。

目 次

基本計画1 地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備	1
基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり	6
基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	10
基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成	13
基本計画5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供	15
基本計画6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり	19
★ 会務の運営、基本計画以外の主な活動	26

市民が福祉サービスを利用しやすくなるための情報提供と生活全般にわたる困りごとや悩みごとに対応できる相談支援体制の整備に努めました。

(1) 地域の福祉課題の把握

平成30年度に向けて、福祉施設、福祉団体、ボランティア団体などを対象として、当協議会の運営・事業推進上の課題や地域の福祉課題などを把握するため実施するアンケート調査の内容について検討しました。

(2) 広報活動による福祉情報の提供

① 社協だより「幸せな社会」の発行

身近な地域の福祉情報を掲載した広報誌「幸せな社会」を年4回発行（発行1回につき約42,000部）し、自治会の協力を得て市内全自治会員に配布するとともに、公共施設への配置や関係団体などへ送付し、福祉情報を発信しました。

また、表紙など一部カラー印刷や写真の活用、拡大版の作成など、市民にわかりやすい誌面づくりに努めるとともに、ボランティアセンター登録団体の点字ろくの会の協力を得て、誌面を点字化し、視覚に障がいのある方へ情報提供しました。

② ホームページの運営

当協議会の運営・事業内容やタイムリーな福祉・ボランティア情報の掲載と更新に努めました。

また、30年度から、市民に見やすく、分かりやすい画面構成にするため下期からリニューアルの検討を行いました。

【アクセス件数】 8,729件（前年度比1,124件増）

③ 社協事業活動の説明

当協議会ボランティアセンター登録団体など関係機関・団体の会議に積極的に出向き、「社協紹介パンフレット」を活用し、事業内容などについて説明し、理解が深まるよう努めました。

また、「2017年度版社協要覧」を作成し、福祉団体・施設などへ配布し、PRに努めました。

【説明先】江別市家庭生活カウンセラーグループ、江別更生保護女性会大麻・文京台地区、江別市高齢者クラブ連合会高齢者ふれあいサロン、江別西地区民生委員児童委員協議会、江別南地区民生委員児童委員協議会、野幌北地区民生委員児童委員協議会、大麻東地区民生委員児童委員協議会、大麻西地区民生委員児童委員協議会

(3) 福祉サービスの適正化、苦情対応

当協議会が提供する福祉サービスに寄せられる苦情・意見などについて、電話での対応のほか現地へ出向くなど適切な対応に努めました。

- 【具体例】・給食サービスの遅配、味付けなどに関すること
- ・除雪に関するこ (作業が雑、まだ作業に来ないなど)

(4) 生活課題に対応した総合的な相談支援

① 生活困窮者自立支援事業の実施（市受託事業）

くらしサポートセンターえべつ（以下「くらサポ」）では、対象者像に合わせた就労支援と役割を創出する活動の充実に注力するとともに、関係機関への事業説明や、ブログでの情報発信も含め、事業周知活動にも力を入れました。

また、社協貸付事業との連携により、家計管理を通して早期自立を目指す支援体制を整備しました。

【相談支援実績】 新規相談件数：361件 支援延べ回数：2, 453回
プラン作成件数：70件

【支援調整会議】

市所管課（福祉課）担当職員、市保護課職員、就労準備支援事業所しごとサポートセンターコクリ（以下「コクリ」）職員、くらサポ相談支援員により、自立に向けたプランの確認や、事業の進め方、相談内容の対応などについて協議しました。

開催回数 45回

【江別市生活困窮者自立支援ネットワーク会議】

生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、関係機関などが連携し情報共有を行うとともに、支援に必要なネットワークを構築するため開催しました。また、参加依頼を教育・福祉・警察・法律・NPO・企業など多様な機関へ行う事で、分野横断的なネットワークの構築を図りました。

開催回数 3回（延べ63人参加）

【就労支援】

コクリやハローワークなど就労支援機関との連携はもとより、ハローワークでの求職が困難な方々（背景に病気・障がい・社会経験の乏しさなど）への支援の充実に向けて取り組みました。

- ・就労体験先の開拓
- 企業など訪問数 10カ所
- ・無料職業紹介事業
- 求人登録数 1件（1人分）
- 求職登録者数 14人
- 就労決定者数 3人

・役割の創出

デザイン制作などに優れた相談者の能力を活かした市内商業施設でのアート作品制作企画への参加やカレンダーの制作など

【事業周知・説明】

ブログや社協だより「幸せな社会」、市広報誌での情報発信、リニューアルしたパンフレットの配布やカード型チラシを作成し、市内コンビニに設置するなどの周知活動を実施しました。また、江別市民生委員児童委員連絡協議会や福祉団体、大学などに出向き説明しました。

説明カ所数 17カ所

【家族懇談会の開催】

社会的なつながりが希薄（ひきこもりや障がいなど）な方の親御さんを対象に、気軽に参加でき、悩みや愚痴を話すことで気分転換ができる場として開催するなど、家族の支援に取り組みました。

開催回数 2回（延べ11人参加・関係機関より11人参加）

② 権利擁護の体制整備と相談支援

ア) 日常生活自立支援事業の実施（道社協受託事業）

北海道社会福祉協議会（以下「道社協」）から受託して行っている当事業を円滑に実施するため指揮監督者、自立生活支援専門員（いずれも職員兼務）及び生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や生活費管理などに不安を抱えている方々を対象に、その支援や重要な書類の預かりなどを行い、地域で安心して生活できるようにサポートしました。

【契約件数】 22件（新規9件）（前年度比3件増）

【生活支援員登録者数】 21人（新規2人）（前年度比2人減）

イ) 成年後見実施機関の設置及び事業の実施【成年後見制度の利用促進への協力】

（市受託事業等）

平成29年7月より後見実施機関運営業務、成年後見制度普及啓発業務、市民後見人フォローアップ研修開催運営業務を受託しました。

同年7月新規に相談支援員1人を配置（相談支援員2人体制）するとともに、8月には地域支援者とアドバイザー業務契約の締結、要綱・マニュアルを整備し、認知症や精神障がい及び知的障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を適切に利用できるよう平成29年11月1日から江別市成年後見支援センターと法人後見事業をスタートし、相談支援を実施しました。

【相談支援実績など】 新規相談件数：51件 延べ相談件数：278件

延べ支援回数：388回 受任調整会議：2回

後見開始等審判の市長申立要請：3件

【法人後見】 新規受任：1件（保佐）

- 【普及啓発】
 - ・ポスター、チラシの作成と配布・掲示
 - ・社協だより「幸せな社会」記事掲載（平成29年10月号及び30年1月号）、市広報誌記事掲載（平成29年10月号）
 - ・ホームページでの情報発信（平成29年10月から）
 - ・江別市成年後見支援センター開設記念講演会の開催（平成29年10月29日（日）、江別市民会館 166人参加）
 - ・事業説明（おおあさ元気塾出前講座、当協議会役員・評議員研修）

【市民後見人フォローアップ研修】

- ・第1回「対人援助・コミュニケーション方法」など（平成29年12月20日（水））
- ・第2回「成年後見制度の復習と事例検討」など（平成30年3月14日（水））

【市民後見人及び後見支援員の登録管理】

- ・市民後見人及び後見支援員の登録意向確認を実施
- ・年度末登録者数：市民後見25人 後見支援員24人

【関係機関会議への参加及び職員研修など】

- ・他市後見支援センター視察（岩見沢・苫小牧・恵庭）
- ・札幌家庭裁判所へ業務説明
- ・江別市成年後見支援センター運営協議会への出席
- ・市担当者とのセンター開設準備に係る会議（2回）及び市長申立案件に係るケース会議（2回）
- ・地域包括支援センターとの役割分担などの打ち合わせ
- ・職員研修はP21～22参照

③ 生活安定のための貸付金を活用した相談支援

生活困窮・障がい者世帯に対し、使途目的に応じた資金の貸し付けを行い、日常生活の支援に努めました。

また、相談の複雑化などに対応するため、前年度に引き続き生活資金相談員を配置し、円滑な業務の推進に努めました。

【相談者件数】

区分	29年度	28年度	増減
生活福祉資金	延99件	延74件	延25件
福祉金庫	延113件	延132件	△延19件
電話	延107件	延120件	△延13件
計	延319件	延326件	△延7件

ア) 生活福祉資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「生活福祉資金貸付事業」の取り扱い窓口として、各種資金を貸し付けました。

【貸付実績】

※各欄上段が貸付件数・下段が貸付金額

区分	29年度	28年度	増減
福祉資金	2件 109,470円	2件 1,400,000円	0件 △1,290,530円
教育支援資金	4件 5,304,000円	4件 2,044,000円	0件 3,260,000円
緊急小口資金	11件 870,000円	5件 383,000円	6件 487,000円
総合支援資金	0件 0円	0件 0円	0件 0円
計	17件 6,283,470円	11件 3,827,000円	6件 2,456,470円

イ) 特別生活資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「特別生活資金貸付事業」の取り扱い窓口として、冬期の生活を確保する資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区分	29年度	28年度	増減
貸付件数	0件	1件	△1件
貸付金額	0円	50,000円	△50,000円

ウ) 福祉金庫の貸付

当協議会の独自事業として、一時的に生活費が必要となった世帯に4万円を限度として、応急的な資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区分	29年度	28年度	増減
貸付件数	85件	89件	△4件
貸付金額	3,310,000円	3,510,000円	△200,000円

④ ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援

相談活動を主とするボランティアセンター登録3団体の協力を得て、火・金曜日の悩みごとテレホン相談及び木曜日の認知症の介護相談を実施しました。

また、「幸せな社会」に具体的な相談事例を掲載し、より市民が利用しやすくなるようにPRしました。

- 【協力団体】 江別家庭生活カウンセラーグループ、江別市家庭問題研究会、江別認知症の人の家族を支える会
- 【相談件数】 65件（前年度比6件減）

⑤ 生活支援体制整備事業の実施（市受託事業）

平成29年4月より介護保険制度の地域支援事業として、市民やボランティアの支え合い・助け合いの力を引き出し、高齢者などの生活支援や介護予防の充実を目指す生活支援体制整備事業を受託しました。

同年7月生活支援コーディネーター配置、8月には新規に業務補助の非常勤職員採用など業務体制を整備する中で、市主催の生活支援体制整備協議体への出席や地域サロンへの参加を通じた情報収集、地域包括支援センターとの協働及び関係機関・団体とのネットワークづくりに努めました。

【関係会議への出席】

市主催の生活支援体制整備協議体への出席など 延べ16回

【市主催地域つくりフォーラムへの協力】

平成29年9月2日（土）開催地域フォーラムの準備、開催業務への協力

延べ5回

【地域サロン等への参加】

様々な内容で行われている地域サロンの実情把握と情報収集 延べ22回

【通いの場リスト作成に向けた依頼・説明】

各公民館、市民活動センターあいなどへの事業説明とサークル活動に関する情報提供依頼 延べ15回

【職員研修】 P21～22参照

基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

市民がボランティア活動に積極的に参加できるよう支援し、地域福祉の担い手として活動しやすい環境づくりに努めました。

（1）ボランティアセンターの運営

① ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

ボランティア活動の相談受付、登録、ボランティア活動への協力依頼に対するボランティアへの情報提供及び活動希望者の調整・確保に努めました。

ア) ボランティアセンター登録団体・個人状況

区分	登録状況		増減
	29年度末	28年度末	
団体	56団体 1,518人	54団体 1,488人	2団体 30人
個人	157人	151人	6人
合計	1,675人	1,639人	36人

イ) 社会福祉施設などへのボランティア協力

高齢者福祉施設や障がい児者施設などでの行事、在宅高齢者への支援及び相談活動などに協力しました。

【ボランティア協力活動実績】

活動区分	延活動人数(人)		増減(人)
	29年度	28年度	
高齢者施設	4,457	3,936	521
障がい者施設・団体	708	805	△97
認知症高齢者	1,668	1,429	239
託児	67	98	△31
在宅高齢者・障がい者支援	1,068	1,198	△130
相談	150	147	3
その他の	206	180	26
合計	8,324	7,793	531

② ボランティア活動の基盤整備

安心して活動に取り組める基盤の整備に努めました。

ア) ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動中の万が一の事故に備え、加入の促進に努めました。

【取り扱い件数】 4,095人

(登録ボランティア: 1,631人／愛のふれあい活動: 1,177人／自己加入者 1,287人)

イ) ボランティア団体助成金の交付

ボランティアセンター登録団体の活動を支援するため助成金の交付や民間助成金の交付手続きを行いました。

◆団体への活動助成金 56団体 1,189,500円

◆民間助成金団体

・北海道地域活動振興協会ボランティア活動支援事業助成金

「札幌斎藤支部門人会大麻千鳥会」「たすけあいサークルよつば会」

「語り、ひとり芝居グループうるうる亭」「長生民謡会」

「朗読ボランティアグループまちの灯」

「江別市水上安全赤十字奉仕団」の6団体に助成

③ ボランティア団体連絡会の運営

登録ボランティア団体で構成される「江別市ボランティア団体連絡会」を運営し、情報交換と交流の促進及び当協議会と協働してボランティア活動を展開しました。

各団体の活動内容はホームページに掲載し、市民にお知らせしました。

【総会及び役員会・講演会】

開催日 平成29年6月7日（水）

場所 総合社会福祉センター

講演会 「地域で支え合う成年後見」

講師：さいわい成年後見センター

副理事長 森田 弘之 氏

（2）ボランティアの育成・確保

① ボランティア活動者研修の開催

ボランティア活動者に参加をいただき、活動の充実を図ることを目的として開催しました。

【開催内容】

開催日 平成30年2月28日（水）

場所 総合社会福祉センター

参加者数 14人

研修内容 「万が一のための救急蘇生法～ボランティアとして知っておきたいこと～」

講師：赤十字救急法基礎指導員 工藤 祐三 氏

② 傾聴ボランティアの育成

当協議会と江別市ボランティア団体連絡会が協働して、悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手をボランティア活動で行い、「聴く」ことにより心の不安を軽減することを目的に実施しました。

ア) 第13期養成研修

日程 平成29年11月1日（水）～8日（水）の期間中、5日間（17時間）の講義、実習

場所 総合社会福祉センター、老健のっぽろ（実習施設）

講師 シニア・ピア・カウンセラー 松坂 志津枝 氏

受講者数 5人

イ) 実行委員会

開催日 平成29年11月8日（水）（養成研修閉講日）
場所 総合社会福祉センター
内容 社会福祉協議会及び傾聴ボランティア事業の概要説明、傾聴ボランティア認定証交付
参加者数 5人

ウ) ステップアップ研修（全道傾聴フォーラムへの参加）

開催日 平成29年10月29日（日）
場所 かでる2.7
内容 基調講演「揺れる心を受けとめる覚悟」
基調講演後、5つの分科会に別れて参加
参加者数 23人

エ) 活動実績（再掲）

16個人・35施設に対し、延べ2,770人（前年度比10人減）が活動しました。

③ フレンティア（社交ダンスボランティア）スキルアップ研修・養成講習の開催

社交ダンスを通じて、高齢者や障がいのある方々の健康の保持増進、生涯学習と社会参加及び *ノーマライゼーションの推進を図ることを目的に、活動の担い手となる社交ダンスボランティアを「フレンティア」と名付け、当協議会が資格認定するボランティア養成講習を実施しました。

また、フレンティア養成講習修了者を対象に、ダンスの基礎確認や技術向上を目的にスキルアップ研修を開催しました。

*ノーマライゼーション：高齢者や障がい者などを含む全ての人々が、地域で安心して生活をし、活動できる社会づくりの考え方。

【研修内容】

日程 平成29年8月26日（土）～9月17日（日）の期間中、8日間（32時間）の実技
場所 総合社会福祉センター
講師 江別SD・Iの会会員
受講者数 4人

基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

身近な地域でのつながりや絆を深め、安心して暮らせる地域づくりの活動支援の充実に努めました。

(1) 愛のふれあい交流事業の実施

様々な機会を利用して、自治会に「地域交流の集い活動事例集」や「社協紹介パンフレット」などを活用し、当事業への取り組みを働きかけました。

① 愛のふれあい活動の実施

ボランティアグループを編成し、ひとり暮らしの高齢者などへの安否確認などの助け合い活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地区	実施自治会数（自治会）			対象世帯数（世帯）			ボランティア延人数（人）		
	29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減
江別	21	23	△2	593	639	△46	923	1,091	△168
野幌	32	34	△2	636	772	△136	1,487	1,579	△92
大麻	32	32	0	687	663	24	3,369	2,440	929
合計	85	89	△4	1,916	2,074	△158	5,779	5,110	669

② 地域交流の集い活動の実施

地域の高齢者・障がいのある方の閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地区	実施自治会数（自治会）			実施事業数（回）		
	29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減
江別	27	29	△2	106	110	△4
野幌	31	31	0	109	111	△2
大麻	36	36	0	126	122	4
合計	94	96	△2	341	343	△2

(2) 江別市共同募金委員会との協働

江別市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、助成金の確保に努めました。

① 赤い羽根共同募金運動への協力

10月1日から展開された赤い羽根共同募金運動へ協力しました。

【募金実績】 8,432,415円 (前年度比511,578円減)

★当協議会への共同募金助成状況

区分	事業名	助成額(円)		
		29年度	28年度	増減
市町村 地域 助成	愛のふれあい交流事業	250,000	250,000	0
	ボランティア団体育成	225,000	225,000	0
	ボランティア活動者研修	18,000	18,000	0
	傾聴ボランティア養成研修	59,000	59,000	0
	傾聴ボランティアステップアップ研修	18,000	18,000	0
	いきいきシニアスクール	22,000	22,000	0
	江別ふれあい福祉の広場	130,918	123,012	7,906
	広報誌「幸せな社会」発行	700,000	700,000	0
道地域 助成	ワークキャンプ	110,000	110,000	0
合計		1,532,918	1,525,012	7,906

② 歳末たすけあい運動への協力

12月1日から展開された歳末たすけあい募金運動へ協力しました。

また、平成29年12月25日(月)、寄せられた募金を活用し、民生委員・児童委員の調査により対象となった生活支援世帯へ見舞金を贈呈しました。

【募金実績】 5,161,863円 (前年度比82,190円減)

【歳末たすけあい募金助成】

★見舞金の贈呈状況

区分	29年度		28年度		増減	
	世帯数(世帯)	見舞金額(円)	世帯数(世帯)	見舞金額(円)	世帯数(世帯)	見舞金額(円)
生活支援世帯	570	3,122,000	600	3,145,000	△30	△23,000

★福祉事業への助成状況

助成先	29年度		28年度		増減	
	団体数(団体)	助成金額(円)	団体数(団体)	助成金額	団体数(団体)	助成金額(円)
障がい児・者団体 及びその家族会	5	252,000	5	252,000	0	0
地域福祉推進団体	2	71,000	2	71,000	0	0
合 計	7	323,000	7	323,000	0	0

★当協議会への歳末たすけあい募金助成状況

事業名	助成額(円)		
	29年度	28年度	増減
ハーフデイボランティアスクール	100,000	100,000	0
除雪派遣サービス	1,041,228	1,031,173	10,055
合 計	1,141,228	1,131,173	10,055

(3) 江別ふれあい福祉の広場の開催

障がい者団体、福祉団体及びボランティア団体などの参画により開催し、多くの市民が集いました。

また、市の「地域イベントへの職員派遣モデル事業」として、江別ふれあい福祉の広場の準備及び当日開催業務に市職員5人を受け入れました。

開催日	開催場所	来場者数
スポーツレクリエーション 平成29年7月15日(土)	江別市東野幌体育館	約100人
ふれあい福祉の広場 平成29年7月16日(日)	江別市総合社会福祉センター	約4,000人

【内 容】

- ◆ふれあいスポーツレクリエーション（風船パタパタゲーム／ジャンケン列車
フラフープくぐり／つなひき／よさこい＆フォークダンス／しっぽ取りゲーム）
- ◆ふれあい福祉の広場
 - ・社会福祉功労者顕彰（P27参照）並びに赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金助成金交付
 - ・ふれあいバザー ・ふれあい演芸大会 ・ふれあいビアガーデン

- ・ふれあいコーナー
- ・共同募金寄付金グッズを活用した募金活動など

(4) 企業・団体の地域貢献活動への支援

自治会、施設・団体、企業が行う社会貢献活動や地域行事などへの協力要請に対し、活動先の紹介、連絡調整及び活動備品の貸し出しなどの支援に努めました。

◆活動備品の貸出

- | | | | | | | |
|------|---|-----|----|----|----|----|
| ・テント | 5 | 自治会 | 10 | 施設 | 21 | 団体 |
| ・机 | 4 | 自治会 | 18 | 施設 | 16 | 団体 |
| ・椅子 | 5 | 自治会 | 9 | 施設 | 14 | 団体 |

◆社会貢献活動への協力

- ・札幌整備振興会江別支部、江別ロータリークラブ、全日本ロータス同友会札幌支部（車椅子無料点検）
- ・江別グリーンライオンズクラブ（緊急支援用食糧寄贈）
- ・江別管工事業協同組合（ひとり暮らし高齢者宅水廻り無料点検）
- ・江別建設業協会（高齢者宅除雪ボランティア）
- ・北海道コカコーラ株式会社（福祉施設への清涼飲料水寄贈）
- ・北日本コンピューターサービス株式会社（車椅子寄贈）
- ・江別ロータリークラブ（介護用電動ベット寄贈）
- ・江別消費者協会（消費者のひろば開催）
- ・三洋電機洋友会北海道地区（車椅子寄贈）

基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成

福祉施設などと協働し、青少年はじめ市民に体験の場や研修の機会を提供し、福祉意識の醸成に努めました。

(1) 地域福祉活動者研修会の開催

自治会役員などを対象に、地域活動に活かせるレクリエーション技術を自ら体験しながら習得していただき、「愛のふれあい交流事業」などに役立てていただくことを目的に研修会を開催しました。

【開催内容】

開 催 日 平成30年3月7日（水）

場 所 総合社会福祉センター

内容／講師 体験学習

楽しみながら健康づくり・仲間づくり～すぐに使えるレクリエー

ーション～／江別レクリエーション協会
参加者数 31人（16自治会）

（2）福祉施設での体験学習

① ワークキャンプ（福祉施設介護体験学習）の開催

高校生を対象に、福祉施設の協力を得て、支え合う心の大切さを学ぶ機会として食事介助、アイマスクを着用しての歩行体験、施設利用者との交流などを行いました。施設担当者との学校訪問や新たに日帰り研修プランの導入などにより、参加者数が増加しました。

【開催内容】

開 催 期 間	参加者数	場 所
平成29年7月26日（水）日帰り	3人	恵明園
平成29年7月27日（木）日帰り	4人	静苑ホーム
平成29年7月27日（木）～28日（金）	2人	静苑ホーム
平成30年1月8日（月）9日（火） (同じプログラムで2日間の開催)	11人	静苑ホーム
平成30年1月10日（水）	4人	恵明園
計	24人	（前年度比参加者数9人増）

② ハーフデイボランティアスクールの開催

小・中・高生を対象に、福祉施設の協力を得て、施設に対する理解を深め、ボランティア活動に取り組むきっかけとなることを目的に開催し、施設利用者との交流、作業体験を行いました。開催日程の変更などにより、参加者数が増加しました。

【開催内容】

開 催 日	参加者数	場 所
平成29年6月24日（土） (前年度比参加者数6人増)	1人	恵明園
	2人	静苑ホーム
	2人	ハビタットのっぽろ
	2人	あすか就労継続支援施設
	6人	北光保育園
計	13人	

（3）総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力

総合的な学習の時間に伴う体験用具の貸し出しやボランティア派遣を通して協力しました。

◆体験用具の貸出

- ・疑似体験セット 小学校 4 校
- ・車椅子 小学校 2 校
- ・アイマスク 小学校 4 校
- ◆ボランティア派遣 小学校 4 校
- ◆社協職員による総合的な学習の時間への協力 小学校 2 校 (2 回)

(4) いきいきシニアスクールの開催

江別市シルバーウィークの一環として、高齢期に生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心・安全な生活を送る一助となることを目的に開催しました。

【開催内容】

- 開 催 日 平成 29 年 9 月 7 日 (木)
場 所 総合社会福祉センター
内 容 テーマ「食べることは生きること 健康寿命を延ばしましょう」
～食からの提案～
講 師 江別保健所管内栄養士会
会長 管理栄養士 尾澤 典子 氏
参加者数 江別市高齢者クラブ連合会関係者 77 人

基本計画 5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供

住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、各種の福祉サービスの提供に努めました。

(1) 雪処理への支援

① 福祉除雪サービスの実施 (市受託事業)

高齢・重度の身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に公道(車道)除雪後に残る「置き雪」の処理をロータリー車、ショベルカーを使用し実施しました。

【実施期間】 平成 29 年 1 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

【利用料金】 1 間口 3 m 以内 (追加料金は 1 間口 12, 200 円)

種 別	市からの助成金	利用者自己負担額	合 計
市・道民税非課税世帯	22, 190 円	13, 450 円	基本料金 35, 640 円
同均等割課税世帯	17, 190 円	18, 450 円	
同均等割・所得割課税世帯	12, 190 円	23, 450 円	

【実施状況】

地 区	29年度（世帯）		28年度（世帯）		増 減 (A-B)
	利用世帯数 (A)	(A)の内、新規)	利用世帯数 (B)	(B)の内、新規)	
江 別	270	(22)	278	(35)	△8
野 幌	281	(41)	277	(37)	4
大 麻	199	(28)	199	(28)	0
合 計	750	(91)	754	(100)	△4

② 除雪派遣サービスの実施

高齢・重度身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に作業協力員により玄関先から公道までの除雪を実施しました。

作業協力員確保のため、江別市シルバー人材センターのほか、札幌勤労者企業組合、障がい者就労移行支援事業所との契約や知的障がい者施設などの協力に加えて、独自に作業協力員の確保も行い、利用対象全世帯にサービスを提供しました。

【実施状況】

地 区	利用世帯数（世帯）		
	29年度	28年度	増減
江 別	53	55	△2
野 幌	47	54	△7
大 麻	55	58	△3
合 計	155	167	△12

③ 「えべつ雪の処理情報誌」の作成

市民の様々な除排雪の要望に対応するため、除排雪作業・料金などの内容を事業者別に記載した情報誌を発行するとともに、公共施設などに配置したほか、自治会の協力を得て回覧するなど、きめの細かい情報提供を行いました。また、雪処理を行う事業者一覧を社協だより「幸せな社会」に掲載しました。

【掲載事業者数】 32事業者掲載（前年度比3事業者増）

(2) 高齢者・障がい者給食サービスの実施（市受託事業）

疾病・障がいにより食事の支度が困難な高齢ひとり暮らし世帯・夫婦世帯などに夕食を届けました。また、配送時に安否確認を行い消防など関係機関と連携し、利用者の緊急時の対応を行いました。

【配食実績】

地区	利用数	ひとり暮らし世帯（世帯）			高齢夫婦世帯（世帯）			障がい者世帯（世帯）			高齢者+障がい者（世帯）			合計（世帯）		
		29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減
江別	世帯数	91	92	△1	9	9	0	2	3	△1	0	0	0	102	104	△2
	食数	91	92	△1	18	18	0	2	3	△1	0	0	0	111	113	△2
野幌	世帯数	75	75	0	11	7	4	3	3	0	2	1	1	91	86	5
	食数	75	75	0	22	14	8	3	3	0	5	2	3	105	94	11
大麻	世帯数	63	87	△24	3	6	△3	7	5	2	2	2	0	75	100	△25
	食数	63	87	△24	6	12	△6	7	5	2	5	4	1	81	108	△27
合計	世帯数	229	254	△25	23	22	1	12	11	1	4	3	1	268	290	△22
	食数	229	254	△25	46	44	2	12	11	1	10	6	4	297	315	△18

【年間配食実績】 77,612食（前年度比106食減）

（3）障がい児者移動支援事業の実施

江別市が福祉サービスの利用を決定した身体・知的障がい児者の社会生活上、必要な外出・余暇活動・社会参加などの介助のために、ガイドヘルパーを派遣しました。

【実施状況】ガイドヘルパー数 16人 ガイドヘルプ利用者数 23人

【利用実績】

利 用 内 容	件数（件）		
	29年度	28年度	増減
健康・体力づくりや余暇活動などのための外出	214	323	△109
医療機関への相談又は受診	108	87	21
公的施策などによって開催される研修・講座への参加	0	0	0
一般市民向けの各種行事への参加	46	22	24
福祉活動を目的とした団体行事などへの出席	210	231	△21
奉仕活動のための外出	0	3	△3
児童の外出の手助け	0	52	△52
学校行事への参加	0	0	0
その他の外出	191	77	114
合 計	769	795	△26

(4) 福祉機器の貸与

① 福祉機器の貸与

疾病・障がいがある方の日常生活を支援するため、福祉機器を貸与しました。

【貸与状況】

福祉機器	保有台数(台)	貸与件数(延貸与月数)(件)		
		29年度	28年度	増減
車椅子	214	1,296	1,416	△120
介護用手動ベッド	23	136	156	△20
介護用電動ベッド	66	492	569	△77
歩行器	43	239	220	19
計	346	2,163	2,361	△198

② 福祉ベルの設置

江別市緊急通報システム設置待機者を対象に、身体急変時の緊急連絡用として福祉ベルを設置しました。

【設置状況】

区分	江別地区(件)	野幌地区(件)	大麻地区(件)	合計(件)
28年度までの設置数	4	8	1	13
29年度設置数	0	5	0	5
29年度返却数	△1	△6	0	△7
計	3	7	1	11

(5) 北光保育園・野幌季節保育所の運営

農村地域の児童の健全育成と子育て支援の一環として開設している北光保育園及び野幌季節保育所を運営しました。

また、平成29年4月から北光保育園が江別市都市と農村の交流センター「えみくる」へ移転しました。

【保育児童数】

区分 保育所名	29年度年齢別保育児童数 (人)					28年度 計(人)	増減 (人)
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
北光保育園	8	11	7	12	38	36	2
野幌季節保育所	2	0	3	3	8	9	△1
合計	10	11	10	15	46	45	1

地域福祉推進の中核的な役割を発揮できる組織づくり、市民から信頼される運営体制の確立に努めました。

(1) 組織体制の整備

当協議会の運営、事業への市民・福祉団体の参加の促進や行政との連携に努めました。

また、市から江別市成年後見支援センター（後見実施機関）運営及び生活支援体制整備事業の受託など事業の拡充に伴い、職員1人及び非常勤職員1人を新規採用し、業務量に見合う人員体制の確保を図りました。

① 行政との連携

特に、下記内容について、市と連携・協議のうえ、実施しました。

- ◆くらサポ相談支援員が毎週事業の進め方や相談内容などについて支援調整会議を開催し協議【再掲】
- ◆江別市成年後見支援センターの開設準備と運営、受任調整会議の開催内容及び具体的な後見受任ケースについて協議し、支障なく円滑実施できるように協議
- ◆市実施の「地域イベントへの職員派遣モデル事業」の内容について協議し、江別ふれあい福祉の広場へ職員5人受け入れ【再掲】
- ◆生活支援コーディネーター業務の進め方及び生活支援体制整備事業の実施や周知方法について協議
- ◆第2期江別市総合社会福祉センター改修等年次計画などにより、平成30年度に計画されている照明設備及び非常用発電機更新の工事方法や経費について協議した内容に基づき予算要求、その結果、LED化による照明設備更新が予算内示され、実施が決定

② 部会・委員会組織の活性化

部会・委員会を開催し、当協議会の運営に市民・福祉団体の意見・考え方を積極的に反映しました。

【部会・委員会開催状況】

会議名	開催回数	開催年月日
総務部会	1回	H29. 9. 19
地域福祉部会	1回	H29. 9. 19
合同（総務・地域福祉）部会	2回	H29. 9. 19 H30. 2. 26

広報編集委員会	4回	H29. 6. 12 H29. 9. 11 H29. 12. 11 H30. 3. 12
福祉金庫管理委員会	1回	H29. 5. 11

③ 役職員などの研修・資質向上

ア) 役員・評議員研修の実施

役員・評議員が当協議会事業の内容について理解を深める機会として開催しました。

平成29年度は、江別市成年後見支援センターの開設及び法人後見業務を開始したことに伴い、改めて成年後見制度の内容及びセンター・法人後見の役割・機能について理解を深める中で、当協議会が制度推進に取り組む意義を考える機会として開催しました。

【開催内容】

開催日 平成30年2月21日（水）

場 所 総合社会福祉センター

参加者数 47人

内 容 「地域で支え合う成年後見」

説明者：江別市成年後見支援センター

アドバイザー 森田 弘之 氏

説明者：江別市社会福祉協議会主査 川口 圭太

「江別市成年後見支援センター及び法人後見業務」

イ) 研修会への参加

役員が、社会福祉の現状や今後の動向などについて理解を深めるため参加しました。

【参加研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人 数
平成29年度法人役員研修	H29.11.29	札幌市	5人

ウ) 職員の資質向上

当協議会の課題について、調査・研究することを目的に、職員の自主性を重視した研修年次計画を策定し、その計画に基づき研修を行うとともに、道社協主催研修会などに職員を派遣し、資質向上に努めました。

【研修年次計画に基づく研修】

研修日 平成29年11月18日（土）～19日（日）

研修職員数 1人

研修内容 「ボランティア全国フォーラム2017」への参加

研修先 広島県福山市

【主な派遣研修会】

研修会	開催日	場所	人数
安全運転管理者講習	H29. 6. 20	江別市	1人
石狩管内社協職員連絡協議会総会及び研修会	H29. 6. 20 H29. 9. 29 H30. 2. 1	石狩市 〃 札幌市	4人 2人 4人
全道新任社協職員研修会	H29. 6. 26～ 6. 28	〃	1人
道社協地域福祉生活支援センター自立生活支援専門員・生活支援員研修	H29. 7. 10	〃	1人
日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅰ	H29. 7. 18～ 7. 19	東京都	1人
全道社協職員研究協議会	H29. 7. 18	札幌市	1人
生活支援コーディネーター連絡会議	H29. 7. 19	〃	1人
支援団体・不動産会社・保証会社職員向け研修会	H29. 7. 21 H29. 10. 30	札幌市 〃	1人 1人
後見実施機関運営視察研修	H29. 7. 27 H29. 8. 1 H29. 8. 7	岩見沢市 苫小牧市 恵庭市	2人 2人 2人
生活困窮者自立支援事業相談支援員研修	H29. 7. 31～ 8. 2	東京都	1人
債務相談対応に係る研修会	H29. 8. 23	札幌市	1人
江別地域における多職種連携研修会	H29. 9. 1	江別市	2人
支え合いを広げる地域づくりフォーラム	H29. 9. 19	千歳市	2人
道央圏生活困窮者自立支援事業担当者研修会	H29. 9. 22	苫小牧市	1人
パートナー宣誓制度と性的マイノリティに関する研修会	H29. 9. 30	札幌市	1人
甲種防火管理講習	H29. 10. 4	江別市	1人

	H 2 9 . 1 0 . 2 3	札幌市	1人
石狩地区災害ボランティア組織連絡会議	H 2 9 . 1 1 . 6	〃	1人
北海道民間社会福祉事業職員共済会業務説明会	H 2 9 . 1 1 . 6	〃	1人
生活困窮者自立相談支援事業研修	H 2 9 . 1 1 . 8	〃	1人
農福連携活動のステップアップセミナー	H 2 9 . 1 1 . 9	〃	1人
生活支援の取り組みに関する普及啓発事業説明会	H 2 9 . 1 1 . 1 4	〃	1人
社協職員先進地域福祉活動視察研修	H 2 9 . 1 1 . 1 7 ~ 2 0	広島県	1人
自立相談支援事業従事者養成研修	H 2 9 . 1 1 . 2 0 ~ 2 2	大阪市	1人
北海道生活支援コーディネーター養成研修	H 2 9 . 1 1 . 2 1	札幌市	1人
経理担当者専門研修	H 2 9 . 1 2 . 1 2	〃	1人
家計相談支援事業従事者養成研修	H 2 9 . 1 2 . 1 9 ~ 2 2	東京都	1人
家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	H 3 0 . 1 . 2 3	札幌市	1人
生活福祉資金貸付事業研修会	H 3 0 . 1 . 2 5	〃	1人
全道生活困窮者自立支援事業研究協議会	H 3 0 . 1 . 2 6	〃	1人
石狩地区地域に理解され支持される社協づくり研修	H 3 0 . 2 . 1	〃	4人
居住支援と生活困窮者自立支援制度に関する勉強会	H 3 0 . 2 . 2	〃	1人
北海道介護予防推進フォーラム	H 3 0 . 2 . 1 9	〃	1人
札幌市災害ボランティアセンター設置・運営研修	H 3 0 . 2 . 2 2	〃	1人
北海道権利擁護人材フォローアップにおける行政・後見実施機関運営活動支援研修会	H 3 0 . 2 . 2 3	〃	1人
地域の絆と支え合い活動石狩地区推進セミナー	H 3 0 . 3 . 6	〃	1人
地域福祉セミナー	H 3 0 . 3 . 2 0	〃	1人

(2) 財源基盤の整備

当協議会の運営や福祉活動を推進するため財源基盤の整備に努めました。

① 会員会費制度の定着・促進

住民・福祉団体などとの協働を進めるうえで基本的な財源となる会員会費制度の定着・促進に努めました。

【会員会費状況】

区分	件 数			備 考
	29年度	28年度	増減	
第1種会員会費 (世帯会費)	38,337世帯	38,332世帯	5世帯	1世帯 年額300円
第2種会員会費 (施設会費)	42施設	40施設	2施設	50人未満 5,000円 50人以上 7,000円 100人以上 200人未満 10,000円
第3種会員会費 (団体会費)	91団体	88団体	3団体	1団体 3,000円 *ボランティアセンター登録団体は人数による
第4種会員会費 (特別会費)	695個人・事業所	694個人・事業所	1個人・事業所	1口 1,000円以上
合 計	39,165件	39,154件	11件	

② 社会福祉基金の積立・運用

寄付金を安全確実な方法で運用するとともに、利息3,623,000円を各種地域福祉事業に充当しました。

【元金積立及び運用内訳】

積立・寄付状況	金額(円)	運用内訳(29年度末)
28年度までの元金積立額①	141,193,109	政府保証債(年利率1.662%) 100,000,000円 金融機関預金 42,555,485円 【内訳(ペイオフ対策による管理)】 定期預金(年利率0.01%)
29年度寄付金受入額②	1,362,376 内訳・篤志寄付 1,311,590 ・つむり寄付 50,786 寄付件数 74件	10,000,000円 定期預金(年利率0.01%) 10,000,000円 定期預金(年利率0.01%) 10,000,000円 定期預金(年利率0.03%) 10,000,000円 普通預金(年利率0.001%) 2,555,485円
29年度末元金積立額 (①+②)	142,555,485	

③ 共同募金からの助成金の確保(P11~12参照)

④ 一般寄付金の活用

直接、当該年度事業に充当できる制度として活用し、特に、江別市高齢者クラブ連合会女性部からの寄付金25万円で電動ベット1台・疑似体験セット3組を購入しました。

また、一般財団法人札幌信用金庫社会福祉基金から10万円が寄付され、在宅福祉サービス、ボランティア活動の促進に役立てました。

【寄付取扱実績】 件数 34件 寄付金額 918, 663円

⑤ 各種事業コストの検討

福祉除雪サービスの利用料金の適正化について市及び江別環境事業協同組合と協議した結果、平成29年度の利用料金は据え置くことを決定、平成30年度以降は改めて協議・検討することとしました。

除雪派遣サービスについても、作業委託費の増に伴う利用料金の適正化について検討した結果、平成29年度の利用料金は据え置きましたが、平成30年度からは作業1回当たり400円から500円に改定することを決定しました。

また、財務会計ソフトのリース契約見直しにより、毎月のリース料金を減額しました。

(3) 事務事業の改善

事務局評価などを通して、事務事業の内容を精査し、改善に努めました。

【主な改善事項】

- ・平成29年10月から、職員の職務の実績や能力が公平かつ客観的に評価する仕組みとして人事評価制度を試行的に導入（平成30年4月から本実施）
- ・福祉金庫貸付事業規程改正によるくらしサポートセンターえべつ家計相談支援事業と福祉金庫貸付事業の連携強化【再掲】
- ・ワークキャンプにおける日帰り体験プラン導入など参加者増加に向けた取り組みを実施【再掲】
- ・平成30年度に向けてより一層市民にわかりやすく福祉情報を提供するためホームページのリニューアルの検討【再掲】

(4) 総合社会福祉センターの管理運営

福祉団体等が利用する地域福祉活動の拠点施設として、また、高齢者が集う交流の場として運営しました。

利用者の理解と協力を得て、照明の間引きなどの節電にも引き続き取り組みました。

更に、施設の長寿命化を図るため、平成23年度に策定した「第2期江別市総合

「社会福祉センター改修等年次計画」に基づく平成30年度の照明器具更新（LED化）工事実施に向けて市と協議を行うなど準備を進めました。

【月別利用状況】

月	利用者数（人）			月	利用者数（人）		
	29年度	28年度	増減		29年度	28年度	増減
4	4,368	4,536	△168	10	4,255	5,275	△1,020
5	4,128	3,957	171	11	4,015	4,211	△196
6	4,340	4,327	13	12	3,494	3,985	△491
7	3,270	3,282	△12	1	2,966	2,821	145
8	3,761	3,440	321	2	3,677	3,590	87
9	3,831	4,202	△371	3	4,753	4,067	686
計					46,858	47,693	△835
累計（昭和57年度～平成29年度）					2,162	922人	

（5）防災・災害対策の推進

当協議会の災害時の役割である江別市災害ボランティアセンターの運営マニュアル概要版をホームページに掲載するとともに、市総合防災訓練、消費者のひろばなどのイベント及び「社協事業活動の説明」の機会に当センターについて説明し、PRに努めました。

更に、平成29年11月6日（月）開催の道社協主催「石狩地区災害ボランティア組織連携会議」及び平成30年2月22日（木）開催の札幌市社会福祉協議会主催「札幌市災害ボランティアセンター設置・運営研修」に職員を派遣し、大きな災害時の他社協及び関係機関との連携や情報収集の手順について理解を深めました。

また、平成30年3月13日（火）には、総合社会福祉センター利用者の協力を得て、災害発生時の身体の安全と人命確保を目的として火災消防訓練を実施しました。

（6）地域福祉実践計画の進行管理

合同（総務・地域福祉）部会において、計画の執行状況について管理し、円滑な推進を目指すため、6基本計画・48個別実践事業について、平成29年度1回目の評価を実施しました。

江別市成年後見支援センター開設及び法人後見事業開始により、日常生活自立支援事業と合わせて包括的な権利擁護支援体制を整備したこと、福祉施設での体験学習で参加者増加に向けた取り組みが功を奏したことなどにより、基本計画では、2計画で「評価4」、個別実践事業では、48事業全てが基準点の「評価3」以上で、その内「評価4」が17事業でした。

平成29年度も全般にわたり、ほぼ予定通りの推進状況と評価されました。

なお、平成29年度の最終評価は、平成30年9月頃実施予定です。

【基本計画評価結果】

分類	基本計画の主な内容と評価結果
基本計画1	地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備 [生活困窮者自立支援事業など13事業] 5 4 3 2 1
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり [ボランティア活動の基盤整備など5事業] 5 4 3 2 1
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動 [愛のふれあい活動など5事業] 5 4 3 2 1
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成 [ワークキャンプの開催など5事業] 5 4 3 2 1
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供 [給食サービス事業など7事業] 5 4 3 2 1
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり [社会福祉基金の積立・運用など13事業] 5 4 3 2 1

★会務の運営、基本計画以外の主な活動

(1) 会務の運営

① 三役会（会長・副会長・常務理事会議） 12回

開催日	開催日	開催日
平成29年 4月14日（金）	平成29年 8月 8日（火）	平成29年12月 8日（金）
平成29年 5月17日（水）	平成29年 9月12日（火）	平成30年 1月16日（火）
平成29年 6月20日（火）	平成29年10月18日（水）	平成30年 2月 9日（金）
平成29年 7月 6日（木）	平成29年11月16日（木）	平成30年 3月12日（月）

② 理事会 5回

開催日	開催日	開催日
平成29年 5月24日(水)	平成29年 9月26日(火)	平成30年 3月20日(火)
平成29年 6月 8日(木)	平成29年12月18日(月)	

③ 評議員会 3回

開催日	開催日
平成29年 6月 8日(木)	平成30年 3月28日(水)
平成29年10月 6日(金)	

④ 監事監査 4回

開催日	開催日
平成29年 5月16日(火)	平成29年12月14日(木)
平成29年 8月29日(火)	平成30年 3月16日(金)

⑤ 評議員選任・解任委員会 1回

開催日
平成29年 9月28日(木)

(2) 社会福祉功労者顕彰

社会福祉功労者を江別ふれあい福祉の広場開催時に表彰し、感謝の意を表しました。

【被顕彰者数】 表彰 42人 1団体 感謝 7人

(3) ボランティア研修事業等への参加

①石狩地区ボランティアネットワーク協議会（主催：道社協）

【開催内容】

開催日 平成29年10月26日(木)

場所 かでる2.7(札幌市)

参加者数 2人

内容 石狩管内社協におけるボランティア活動の情報交換について

②石狩地区ボラネットスキルアップ研修会（主催：道社協）

【開催内容】

開 催 日	平成 29 年 1 1 月 3 0 日 (木)
場 所	西当別コミュニティセンター
参加者数	3 人
内 容	・かすみ草の会、なでやかサロン実践報告 ・石狩管内ボランティア情報交換会

(4) 石狩地区市町村社協会長等情報・意見交換会の開催

社協事業や地域福祉推進上の課題等について研修と意見交換を行う機会として、各社協持ち回りで毎年度開催しており、平成 29 年度は、本市で 26 人の参加を得て、当協議会くらしサポートセンターえべつの事業内容について研修しました。

(5) 障がい児者施設の作品展示・販売

障がい児者への理解を図ることを目的に、障がい児者施設の作品を総合社会福祉センターロビーにコーナーを設けて展示・販売しました。

【販売数】 ぼかし、固形石鹼、ポーチなど 合計 90 点

(6) 福祉団体・ボランティア団体写真展の開催

江別ふれあい福祉の広場の開催に合わせ、福祉団体・ボランティア団体・施設などの活動を PR することを目的に、平成 29 年 7 月 16 日 (日) から 23 日 (日)までの期間、総合社会福祉センターで写真展を開催し、43 団体 (前年度比 4 団体減) から出展がありました。

(7) 社協だより「幸せな社会」への広告掲載

広告料による自主財源の確保に努めました。

【広告掲載実績】 掲載事業者数 7 社 広告料 115,000 円